

発行/広島県印刷工業組合 発行人/中本 俊之
広島市西区南観音一丁目1番22号 TEL(082)293-0906 FAX(082)293-0954
URL : <http://www.hiroshima-pia.jp> E-mail : h.inkumi@estate.ocn.ne.jp



「令和6年能登半島地震」発生から1年、被害を受けられた方々および関係者の皆さまには、早期復旧できるよう広島県印刷工業組合は、心より応援いたします。

令和7年新年互礼会

年頭の挨拶

広島県印刷工業組合 理事長 中本 俊之

来賓挨拶

自民党 岸田文雄様 代理 岸田翔太郎 様

中国経済産業局 局長 實國 慎一 様

広島県知事 湯崎 英彦 様

広島市長 松井 一實 様

広島県議会議員(県工組顧問) 山木 茂 様

2025第50回 備後印刷産業新年互礼会

「DTP作業技能検定」の審査行われる

紙断裁機使用には「特別教育」が必要!

事務局だより ●組合の動き

【名勝 縮景園】 (広島市)

広島市内の中心部に位置し、現代の街並みに広がる四季折々の自然豊かな庭園は、広島県内外を問わず多くの方の憩いの場として親しまれています。

縮景園は広島藩主浅野長晟が、元和6年から別邸の庭園として築成されたもので、作庭者は茶人として知られる家老の上田宗箇です。

お茶会をはじめとした様々な行事が執り行われる縮景園。一般の方もご参加いただける行事があり、ぜひ楽しんでください。様々な樹木や草花が織りなす美しい情景。今は冬、松の木にコマが巻かれているのが見られます。

令和7年 新年互礼会

～ 昨年より7名減の 176名が集う ～

広島県印刷工業組合主催・印刷関連団体共催による令和7年新年互礼会が「見えないヒントを『読もう』」をスローガンに1月6日(金)午後6時からリーガロイヤルホテル広島で、ご来賓、組合員、関係団体より176名が出席し盛大に開催された。

司会は明るく爽やか、そして絶妙なトークの北山美砂子さん。まずは、参加者全員の国歌「君が代」斉唱で開会した。

はじめに、広島県印刷工業組合中本俊之理事長より新年のあいさつ。つづいて、来賓を代表して自由民主党衆議院議員岸田文雄様の代理 秘書 岸田翔太郎様、中国経済産業局長 實國慎一様、広島県知事 湯崎英彦様、広島市長 松井一實様から祝辞をいただいた。そして、県工組の顧問である広島県議会議員の山木茂様に乾杯のご発声をいただき、祝宴開始。

宴たけなわのころ、恒例の福引が担当の県工組青年



部メンバーの進行により行われた。司会者が商品を紹介し、壇上で青年部の木戸部会長が参加者の氏名が記入してある抽選箱から1枚ずつ引き、名前を発表、当選者は賞品を受け取るという仕組みで行われ。最後の1等賞2本は中本理事長が引き、一つ目の“充電式ハンディクリーナー”は、(株)アドブレックスの隅川通治社長に、二つ目の“高圧洗浄機”は東京インキ(株)の戸田正博氏に当たった。当選者は、「正月早々いいことがあると、後が怖い」とか「良いものをいただきうれしいです。これで今年は良いことがありそうです」と喜びを語られた。

最後は、広島県印刷工業組合の宇都宮公徳副理事長が、めでたく三本締めをされ互礼会は幕を閉じた。



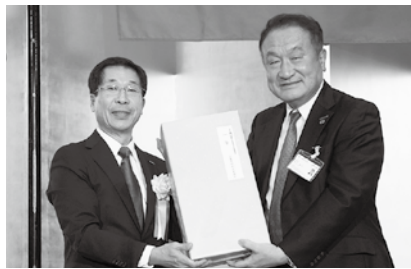
国歌斉唱



乾杯



木戸青年部会長



隅川 通治 氏



戸田 正博 氏



 JIS Q14001:2004 登録番号JSAE816

 MS JAB CM001

 24000277(05)


 「技術」と「感性」と「誠意」をもって
 造り上げる高品質の印刷物。

株式会社 インパルスコーポレーション

本社及び安佐南一般印刷工場 / 〒731-0141 広島市安佐南区相田1丁目16-27
 TEL (082) 878-6000(代) FAX (082) 872-1664
 広島事務所 / 〒733-0012 広島市西区中広町1丁目16-24
 TEL (082) 234-2221 FAX (082) 234-3318
 E-mail: impulse1@imp-h.co.jp http://www.imp-h.co.jp
 東京支店 / 東広島営業所 / 岩国営業所

真心で奉仕して67年

総合印刷 
 ● 折り込みチラシ
 ● 高級カラー印刷
 ● OA印刷
 ● 簡易印刷
 ● 自費出版、etc.

より速く、より美しく…アイデアから印刷まで。

(株) 呉精版印刷

〒737-0822 広島県呉市築地町5-4
 TEL (0823) 22-5011(代) FAX (0823) 22-5027
 E-mail: k_seihan@ms6.megaegg.ne.jp

年頭の挨拶

「見えないヒントを「読もう」

広島県印刷工業組合

理事長 中本 俊之



あけましておめでとうございます。みなさまにおかれましてはすこやかに新年をお迎えになられましたことを心よりお慶び申し上げます。旧年中は組合運営に格別のご支援とご協力を賜りまして、厚く御礼申し上げます。本年も昨年同様、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

本日は、多くのご来賓の皆さまにご臨席をたまわり、互礼会を開催できますことを、心から感謝申し上げます。

1 《景況》

さて昨年を振り返ってみますと、年が明けたばかりの1月1日能登半島で地震が発生しました。さらに復興を目指す最中の9月には記録的な大雨に見舞われ、またもや大きな被害が出ました。われわれの仲間も30社が被害を受けました。あらためて被災地域の日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。

5月は印刷機材展 drupa2024 が8年ぶりにドイツで開催されました。17万人が集まり、話題の中心は自動化でした。drupaは4年ごとに開催されますが、前回2020年は新型コロナウイルス感染症拡大から中止となりました。

次回開催は2028年です。このdrupaは他のどの見本市よりも新しいアプローチと新しい技術を見ることが出来ます。印刷業界全体が世界をリードするdrupaに集まるため3年後の印刷業界がどのように変わるのか楽しみです。

10月にはノーベル平和賞が日本被団協に決まりました。日本被団協は広島・長崎の被爆者の全国組織で核兵器廃絶を訴え続けてきました。「人類が核兵器で自滅することのないように！核兵器も戦争もない世界の人間社会を求めて共にがんばりましょう」と呼びかけました。

今年戦後80年を迎えるにあたって、世界平和の実現は「次世代につなげる、関係をつなげる」ことが大切な事とあらためて感じます。

2 《ローカルゼブラ》

われわれの印刷組合は「連帯、共済、対外窓口」という機能のもと、一社では解決できない経営課題に、中小印刷会社が集い、力を合わせ、さまざまな課題解決を図っています。

そのひとつの例として全印政連（全日本印刷産業政治連盟）があります。

—昨年はグリーン購入法の基準が変り、昨年は外国

人労働者の特定技能で印刷・製本業種が追加となりました。

全印工連と全印政連が連携したことによる成果です。昨年の理事会で、「いい仕事で稼げる社会に」をテーマに勉強会がありました。

重要なのは「価格交渉」、「価格転嫁」、「価格交渉のフォローアップ調査」です。

「価格転嫁をしないと内需が良くならないし、日本の景気も良くならない。中小企業庁からの調査アンケートにちゃんと答える」ということです。

われわれは今のデジタル化と人口減少という現状のなかで、印刷だけにとらわれるのではなく、地域のニーズに応える事業をすることが必要です。それが「ローカルゼブラ企業への変革」です。ゼブラ企業とは、白黒模様のシマウマにたとえられた言葉で、自社を含めた地域資源を活用して地域課題を解決しながら事業成長することで、よりよい地域社会をつくることを目指します。われわれは印刷物だけを作ることが目的ではなく、われわれの本来の力は「結ぶ力」、「伝える力」です。あらゆる産業に通じ地域をつなぐ力、さまざまな情報を収集する力、デザインや編集など伝える力が印刷業にはあります。この力を発揮して一歩先をゆくクリエイティブな産業でありたいものです。

3 《締め》

そしてもうひとつ、今年19回目となります「印刷産業夢メッセ」は10月24日25日に開催する予定です。

我々の地元での人脈も含めあらゆるものを結ぶ力、伝える力を発揮して、地元になくてもならない会社を目指して、そしてこの夢メッセが夢を語り合う情報の場となりますように精一杯努めてまいります。

最後になりましたが、印刷業に限らず、社会が大きく変わり、だれもが変化を求められています。立ち止まっているだけでは何も変わりません。何も変えなければ、今年と同じ来年、今と同じ未来になるだけです。人は何かを追いかけている時が一番充実しています。少しずつでも意識を変えて行動を起こし、われわれがこうなりたいと思う未来にしていきたいと思います。

2025年が皆さまにとって良い年となりますよう祈念をいたしまして、新年の挨拶とさせていただきます。

ありがとうございました。



三本 締



宇都宮 副理事長

印刷物は選挙を支えている!!**自由民主党
衆議院議員****岸田 文雄 様**

代理 秘書 岸田翔太郎 様



皆さん、こんばんは。ご紹介いただきました、衆議院議員の岸田文雄事務所からまいりました、秘書の岸田翔太郎でございます。諸先輩方がいらっしゃるなかで大変恐縮ではございますが、岸田文雄の代理ということでご指名を賜りましたので、一言ご挨拶を申し上げたいと思います。

改めまして皆さま、明けましておめでとうございます。本日は、広島県印刷工業組合、そして関連団体の皆さま方によります、新年互礼会にお招きをいただきましたことを、心から御礼を申し上げたいと思います。

振り返ってみますと、旧年2024年は、我々政治に携わる人間にとっては、大きな激動の年でありました。9月に行われました自民党の総裁選、また、その直後に行われました、10月の第50回の衆議院議員解散総

選挙。大きな2つの選挙があって、そしてその選挙を通じて、この組合の皆さま方には力強くお支えをいただきましたことに、心から改めてこの場を借りて御礼を申し上げたいと思います。

昨年末、私もデスクの書類の整理をしていたところ、昨年の選挙の資料が出てきて、選挙に関わるポスター、はがき、ビラ、チラシ、そういった物をどのように何部発行して、何に使ったかという資料が出てきました。それらとにらめっこしているなかで、そういった紙や、そういった物によって選挙戦は支えられているのだなということ、改めて感じたところでありました。そうした思いを通じて、平素の皆さま方におかれまして職務に対して、改めて敬意と感謝を申し上げたいと思います。

結びになりますが、この2025年が皆さまにとってますますより良いものになりますようにお祈り申し上げて、私からのご挨拶に代えさせていただきたいと思っております。

本日は誠にありがとうございました。

新しい未来に向けての挑戦を**後押しします!!****中国経済産業局****局長 實國 慎一 様**

印刷産業はこれまで、人の情報伝達の手段を提供するという重要な役割を果たしてきました。しかし、昨今のデジタル化の進展による印刷物の需要の減少、あるいは環境配慮の必要性の増大、さらには、原材料価格の高騰など、印刷産業を取り巻く環境は刻々と変わっております。こうしたなか、革新的な変化が求められる状況にあるのではないかと認識しております。

既に組合員企業の皆さまは、デザインやマーケティング支援など、新しいサービスの提供を行い、付加価値創出に取り組まれていると伺っております。また、貴組合は、毎年、「印刷産業夢メッセ」の開催など、業界の発展のために尽力されており、心強い限りであります。

先ほど中本理事長のご挨拶のなかに、いろいろ共感するお話がありました。地域のニーズに応え、事業を再構築していくこと。また、少しでも意識を変えて行動を起こし、こうなりたいと思う未来に向けて一緒に取り組んでいきましょう、というお話がありました。私はまさに、こうしたお話に共感します。実際、今置かれている印刷産業の環境、この厳しいなかでどう未来につなげていくか。これを考えていくことが重要であり、理事長のメッセージは、この業界の先頭に立つ

て未来をひらいていく、強い決意の表れだったのではないかと、このように感じたところです。

我々も皆さんと一緒に、皆さんがあるべき未来、こうした未来に向けて新しい一歩を踏み出す。こうした取組みを全力で応援してまいります。例えば、補正予算で成立いたしました、中小企業の省力化投資補助事業。こちらは印刷業界からのご要望を受けて、かなりカタログの中に必要な製品を追加しております。また、従来の予算の組み換えではありますが、新しい市場や高付加価値事業への進出を支援する、1,500億円規模の中小企業新事業進出促進事業を、現在中小企業庁のほうで順次しております。組合員の皆さまには、ぜひ、こうした補助事業を活用していただきながら、新しい一歩を踏み出すために、利用してもらいたいと思っております。

また、これも理事長からありましたが価格転嫁は大変重要です。これをしていかないと、組合員の企業の中で働いている従業員の方々の給料、これの上昇につながっていきません。経済産業省、中小企業庁といたしましても、引き続き適切な価格転嫁の取組みを支援するとともに、大企業を含めたパートナーシップ構築宣言の普及、拡大。こうした持続的な賃上げを実現するための環境整備にも、引き続き全力で取り組んでまいります。

最後になりますが、広島県印刷工業組合のますますのご発展と、本日ご参集の皆さまのご健勝とご多幸を祈念いたしまして、私の新年のご挨拶とさせていただきます。本日は誠にありがとうございます。

今の時代は「両利きの経営」で

広島県知事

湯崎 英彦 様



今年は大阪・関西万博があり、多くの海外を含むお客さまがこの西日本にいらっしゃると思います。また、福山では世界のバラ会議が開催され、ここでもまた世界中からお客さまが来られます。こういったイベント、広島の観光資源、あるいは文化を発信する絶好の機会といたしまして、国内外からのさらなる遊客促進につなげてまいりたいと考えております。

また、広島県は海の幸、山の幸、多くのおいしさがあり、「おいしさの宝庫」と我々は言うておりますけれども、全国に誇るべきたくさんの方がございます。こうした広島の食の魅力につきまして、県内外の皆さまからの共感をいただきながら、広島のおいしいイメージの定着に、引き続き取り組んでまいりたいと思っております。こういったものを伝えるにあたっては、もちろん今の時代はウェブというのを活用されるわけですけれども、印刷物でこの美しさを知らせていく、あるいは店ごとに、席ごとにそれをお知らせしていく、これは非常に重要なことだと思っております。

現在の観光パンフレットは、何より美しい写真、あ

るいは美しいデザイン、これがお客さまの心をくすぐる。非常に明確な効果がありまして、それに貢献していただいております皆さま方、本当に感謝を申し上げたいと思いますし、このおいしい広島県、あるいは多くの広島の魅力を伝えるにあたって、皆さまのお力をお借りしたいと思います。

また、AIも今後大きくさまざまな分野に入ってくると思います。AIを通じた合理化、あるいは新しいクリエイティブの制作。これをいかに使っていくことができるかというのが、次世代における競争力の大きな差別化につながるのではないかと考えております。本県もAIを活用するという事で、広島の生産性を上げていく、あるいはAIを通じてイノベーションを起こしていく。そういったことを実現したいと考えております。[HIROSHIMA AI TRIAL ~失敗を生かそう~]ということのスローガンに、さまざまな取組みを進めていく予定としております。この「失敗を生かそう」というのが非常に重要でありまして、探索であります。「両利きの経営」と言われますが、従来の事業をしっかりと安定的に実行しながら、他方で新しい成長分野を探索する、こういうことが今の時代求められているところ です。

新年の門出にあたりまして、お祝いと代えさせていただきます。本日は誠にありがとうございます。

情報コミュニケーション産業として

新たな魅力、価値創造を

広島市長

松井 一實 様



皆さま方におかれましては、研修会の開催、あるいは広報活動、そして「印刷産業夢メッセ」、こういったものの開催などを通じて、中小印刷企業の育成、そして業界の発展に大いに貢献されるとともに、地域の経済の振興、そして雇用の推進にも多大な貢献をされておられます。このことに対して、深く敬意を表したいと思います。

本年、ご存じのように被爆80周年という節目の年にあたります。そんななかで本市はさまざまな記念行事に取り組んでいくという覚悟を決めておりまして、今まで以上に平和文化の振興、これを図っていくことにしております。そうしたなか、近年のデジタル化が進行しております。デジタルトランスフォーメーションの推進であるとか、AIの有効利用が進んでおりまして、印刷産業を取り囲む環境の変化、大きな転換期を迎えていることとございます。そうしたなかで、この事業を幅広くPRし有意義なものにしていくためには、まずもって人と人の架け橋となる印刷産業。この皆

さまのお支えがなければ、これが両立しないと思っております。そういう意味では、今後とも私たちの生活、あるいは社会経済活動、これを支える重要な情報コミュニケーション産業として、新たな魅力、価値創造、士気、組合がより一層発展するということを、心から期待しております。

私は、ちょうど巳年生まれでございまして、他の所では言いましたけど、今日は巳年の方に3人会うと幸せになるということらしいので、3人目になりますので。ぜひ、脱皮をする巳。これから新しい実を結ぶための取組みを、皆さまと一緒になって取り組んでいきたいと思っております。

そして、本市に関しましては、魅力と活力のある町づくりを基盤としながら、さらなる発展を目指して、地域総出の町づくりに取り組んでいきたいと思っておりますので、引き続きのご愛顧よろしくお願ひいたします。本市の行政推進に一層のご理解、ご協力を改めてお願い申し上げまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

結びに、広島県印刷工業組合が今後ますますのご発展、そして、本日ご出席の皆さまのご多幸を祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。本年もどうかよろしくお願ひします。ありがとうございました。

アイデアが次々聞こえてくる
令和7年に!

広島県議会議員
(広島県印刷工業組合顧問)
山木 茂様



昨今、やはりインターネットやデバイス。こういった言葉がずっと流れるたびに窮屈な思いをすることがございます。しかし、私は広告なんかをインターネットで検索する度に見ますけれども、大変煩わしい。何かを検索する時に、ポツとバナーが出てくるのです。それで、見たくもない時にそれを見させられる苦痛と言いますか、そういったものに日々耐えながら生活しているところです。

そういったなかで、どういった広告が頭に残っているかというのを考えた時に、新幹線の中でパッと見たSky株式会社さんや、横に流れてくるようなハードロックナットです。ああいった、ただの点なのですからけれども、文字ですけれども、それがすごく頭に残るみたいです。やはり、何事もTPOというか、時と場合によって出すということが大事だろうなと感じるところです。

そういったなかで、町の中も、昔はいろいろと社会

を明るくするような標語が貼られてたり、いろいろしておりました。子どもの火遊びはやめましょうとか、火の用心とかが昔だったらいろんな所にありましたが、なかなか貼る場所が無くなったりして。昔はそういったのも皆さんの所で印刷をしていただいて、地域の方が針金なんかで貼っていたんだと思いますけど、そういった物をあまり見かけないようになってしまいました。

でもやはり、これから、先ほど理事長の話の中にもゼブラ企業がありましたけれども、地域のニーズを掘り起こしながら、いろいろと商機を見つけていこうというお話でした。そういった意味でも、いろいろな社会を良くしていこうというような思いのなかで、出てくる新しいこれからの仕事もあろうかと思えます。そういったアイデアが次々聞こえてくるこの令和7年に、何より祈念をして乾杯をしたいと思えますので、ご準備をお願いいたします。

ご準備はよろしいでしょうか。それでは、アイデア溢れる今年になりますよう祈念して、乾杯。ありがとうございました。

【教育研修委員会】

『令和6年度DTP作業技能検定』の審査行われる
～ 審査員の厳しく真剣なチェックで判定 ～

今回で広島でのDTP検定が7回目となりました。これは常に検定員の皆様のご協力の賜物です。1月19日(日)に広島コンピューター専門学校で、実技試験が行われ、翌日の20日に広島印刷会館会議室に於いて審査がありました。

検定員は、試験前日に会場の広島コンピューター専門学校にプリンターを搬入設置、検定当日は実技試験会場で立会、検定日翌日は審査と大変です。感謝しかありません。

検定員は、松本仁志氏(松本印刷株)、西本由加氏(株ニシキプリント)、赤崎 康氏(株中本本店)の以上3名です。今年もありがとうございました。



Duplo
from print to documents

デュプロ株式会社 広島支店

広島市西区南観音5-14-6
TEL 082-295-0022

THE PLATE THAT PAYS

経営を変え、利益を生む SONORA

日本全国 47 都道府県で累計 700 社超。
完全無処理 CTP プレート KODAK SONORA の進化は止まらない。

コダック ジャパン

〒564-0063 大阪府吹田市江坂町2-1-43
TEL.050-3819-1266 www.kodak.com/ja



2025年 第50回 備後印刷産業 新年互礼会

1月9日(木)午後6時から福山ニューキャッスルホテルにおいて、2025年の最初の行事は備後印刷産業新年互礼会。今回は第50回という節目を記念する会として開催しました。広島県工組から中本理事長、田尾副理事長、中川常任理事のご出席を賜り、期待のかかる年明けの中、103名のエンターティナーを頂き、盛大な会となりました。

佐藤実行委員長の「開会の辞」から始まり、国歌斉唱、そして市川府中支部長の主催者挨拶が「第1回がスタートした50年前の印刷は、まだ版下を作るのも写植を糊で貼ったり、罫線もカラス口を使っていた時代で、そこからの技術の進歩は目を見張るものがある。それと同時に時代も世代も変わり、激動の50年だった。それでもここに出席頂いた皆さんは何とか時代にアジャストされて来られた方たち。これからも皆で知恵を出し合って新しい時代を乗り切っていきましょう！」とあり、続いて県工組中本理事長からの来賓のご祝辞を頂きました。今回は第50回を記念し、乾杯の前に福山支部の前身の総合印刷事業協同組合の頃から業界に携わってこられて同組合の事務局長をなさっていた実井輝之氏に当時のことを「総合印刷事業協同組合の設立。その翌年に開催した新年会が盛り上がったこと。それが好評だったので、それではと皆さんに



佐藤実行委員長

声掛けをして第1回目の福山での新年互礼会となった事。それが今日の備後印刷産業新年互礼会に繋がっている。」とお話いただき、会場の皆さんその頃に思いを馳せ、聴きいってらっしゃいました。

今回は更に50回を記念して鏡開きをおこない、同じく当時の事をよく知る大先輩の草戸印刷(有)の小田会長の乾杯のご発声を合図に和やかな雰囲気の中、祝宴が始まりました。

昨年に引き続き、アート印刷の近藤専務の進行によるテーブル対抗のアトラクション。今回は昨年、大地震や豪雨で甚大な被害を受けた能登地方に少しでも支援に繋がればと、優勝チームは能登の加能ガニ、準優勝と3位は能登ワインや海産物を賞品に選びました。予選はクイズ大会。今回は印刷業界にちなんだ問題を出題。簡単な問題から難問まで、中でも難しかったのは「1958年に広島県工組が『何社』で発足したか?」という問題。4択とはいえ勘で答えるしかなく?でも皆さん真剣に取り組んでおられました。上位3テーブルの代表による決勝ラウンドはイントロ当てクイズ。決勝に進めなかった皆さんも含めて大盛り上がりでした。

宴の終わりは近江福山支部長による一丁締めで互礼会を閉会することが出来ました。

最後に、厳しい情勢の中、今回もご協賛くださいました各社様にはこの場を借りまして心よりお礼申し上げます。ありがとうございました。



実井氏



印刷会社のお助け寺
POD出力サービス いんさつ駆込寺

株式会社 **ゴプス**
<https://gops.co.jp>

〒733-0833 広島市西区商工センター1-4-29
TEL 082-279-9400 FAX 082-279-9402

あらゆる製本機材の御用命は
有限会社 **楠川研磨所**

勝田製断裁機
丸山製針金綴機
此花マーブル貼機
福田刃物断裁包丁

広島市南区宇品東2-8-27
TEL (082) 251-6761
FAX (082) 251-7575

紙断裁機使用には「特別教育」が必要!

**1月に送付しました「特別教育」開催のアンケートで申込者が、
2月14日締め切りですが、現在、十数名です。**

今月も申込用紙を別添で送付しています。

中央労働災害防止協会 中国四国安全衛生サービスセンターを講師に県工組でまとめて行う場合、1人
当り(50名受講で7,000円・60名受講で5,850円・70名受講で5,000円・80名受講で4,400円)
プラステキスト代になります。

受講者が多ければ多いほど人数割で安価に受講できます。1社何名様でも構いません。一度、受講して
記録を保存しておれば結構です。

但し、受講日が土日祝日の場合は30%アップとのことです。

【※せめて、受講料1万円以下で実施したいものです】

この特別教育は、印刷関連業界の方ならどなたでも受講できます。会社及び社員の安全のために、ぜひ、
受講されることをお勧めします。

事務局だより

◎ 組合のうごき

1 月	5日	県工組新年互礼会	リーガロイヤル ホテル広島
	9日	備後印刷産業新年互礼会	福山ニュー キャッスルホテル
	19日	DTP検定(実技)	広島コンピュータ 専門学校
	20日	教育研修委員会	web会議
	23日	産業戦略デザイン室	web会議
	28日	経営革新マーケティング委員会	web会議

2 月	5日	沖縄県工組との全国大会打合せ	広島 ガーデンパレス
	7日	全青協正副議長会	大 阪
	8日	全青協第38回全国協議会	大 阪
	21日	中国地区印刷協議会(下期)	岡 山

令和7年新年互礼会のお礼

新年互礼会(1月6日)に大勢の皆さまにご出席
いただきましたことありがとうございました。

◎ 組合員の異動

【加 入】 ㈱マルテン(福山支部)

■代表者 佐藤 紘之 TEL.084-943-0666

■加入年月 令和6年9月

【加 入】 タグソリューション㈱(広島西南支部)

■代表者 川中 康男 TEL.0829-32-5400

■加入年月 令和7年2月

泉紙業株式会社

☎733-0833 広島市西区商工センター6丁目7-15

TEL (082)277-6266(代表)

FAX (082)278-3578